

## 耳栓取扱説明書

- この度は当社製耳栓をお買い上げ頂き、お礼申し上げます。耳栓を使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用してください。【この説明書は読んだあとも大切に保管してください。】
- 疑問や不明な点がございましたら、裏面の当社消費者相談室までご連絡ください。
- この説明書を紛失した場合も同室までご請求ください。

### 【使用方法】

- ①耳栓を入れる耳とは反対側の手で耳を引っ張り上げ、耳の穴をまっすぐにしてから耳栓をゆっくりと装着してください。
- ②使用前に耳栓が汚れていないか確認してください。
- ③常に清潔な手で取扱ってください。
- ④つなぎ紐は外さないでください。  
※No.SP-1962にはつなぎ紐はありません。
- ⑤使用後は必ず洗浄してください。
- ⑥No.1960は大きな球状の方を耳孔の入口にあて孔口をふさぎ、小さい球状の方を横に倒して、耳たぶの適当な位置に固定してください。



### ⚠ 危険

- ①騒音から聴力低下を防ぐ目的以外での使用はしないでください。
- ②遮音することにより事故を起こす恐れ（警報音や声を聞く必要）がある作業や行動（自動車の運転等）には使用しないでください。
- ③騒音防止専用ですので、防水用（水泳、ダイビング、入浴等）として使用しないでください。

### ⚠ 警告

- ①必ず騒音区域に入る前に装着し、騒音区間では常に装着しててください。
- ②使用前に耳栓を点検して傷、亀裂、破損、変形、汚れ等がある場合は、使用しないでください。
- ③耳栓はゆっくりと抜いてください。（鼓膜、外耳道等を傷つける恐れがあります。）
- ④機械等に巻き込まれる恐れがある作業での使用は充分注意してください。
- ⑤溶剤、消毒液や化学物質等を付着させないでください。

## ▲ 注 意

- ①化学物質によって変質する可能性があります。
- ②使用中に発疹、発赤、かゆみ等の症状が現れた場合は、使用を中止し、皮膚科医等へご相談ください。
- ③使用しない時は携帯収納ケースに入れて保管してください。  
※No.SP-1962には携帯収納ケースはありません。

### 【使用後のお手入れ方法】

- ①汚れは薄めた中性洗剤で拭き、柔らかい布を真水で濡らし拭き取ってください。
- ②材質を劣化させるので、シンナー、ベンジン、アルコール等の溶剤で絶対に拭かないでください。

### 【保管方法】

- ①乾燥した清潔な場所に、常温で保管してください。

### No.1915

周波数	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz
遮音値	18.4dB	16.9dB	17.6dB	21.2dB	26.3dB	26.4dB	21.6dB

### No.1930

周波数	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz
遮音値	23.7dB	25.0dB	28.8dB	23.5dB	28.4dB	26.4dB	30.9dB

### No.1935, No.SP-1962

周波数	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz
遮音値	17.4dB	19.9dB	15.2dB	20.5dB	28.2dB	25.7dB	23.5dB

### No.1960

周波数	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz
遮音値	18.7dB	17.8dB	15.0dB	25.0dB	27.4dB	28.8dB	33.6dB

(※)JIS T8161の試験方法による。

※遮音値とは、音をさえぎる能力を示す数値で、周波数によってその値は異なります。遮音性能の表で250Hzの遮音値の欄に25.0dBとある耳栓は、250Hzの音を25.0dB遮音することができるということです。つまりこの場合、環境の騒音が85.0dBであれば、 $85.0 - 25.0 = 60\text{dB}$ できるということになります。

※上記遮音値はJIS T8161の試験方法によるものです。保護具の装着具合や個人差があります。

【発売元】 **株式会社 ト・ヨ・セフティ**

兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園  
URL : <http://www.toyo-safety.co.jp>

消費者相談室 **TEL.0794-83-0155**

日本聴力保護研究会会員

【製造元】 **東洋物産工業株式会社**

AGG-Ⓐ